



無理なく自分の スタンスで

プロサッカー選手

今野 泰幸

KONNO YASUYUKI

PROFILE

1983年宮城県出身。私立東北高等学校卒業後、2001年にJリーグ、コンサドーレ札幌に入団。04年、FC東京へ移籍。05年から日本代表で活躍し、2010FIFAワールドカップ南アフリカ大会日本代表にも選出される。04、05、09年にJリーグ優秀選手賞を受賞。08年より認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」のワクチン支援に参加。Jリーグの全試合を対象に、出場するごとに500人分のワクチンを寄付している。



© J.League Photos

以前から、世界的に有名な選手がチャリティーやボランティア活動に参加しているのを見て、「自分もサッカーを通じて何か社会貢献ができないか」と考えていました。そんなとき、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」の活動を知りました。

聞かされたのは、世界で1日4,000人の子どもたちが、ワクチンがないために予防可能な感染症などで亡くなっているという現実。でも一方でワクチンは、ポリオ(小児マヒ)であれば一人分約20円。それで一つの命を救えるんです。「これなら自分も力になれるのでは」と協力を申し出ました。

自分は守備的なポジションなので、得点したときにワクチンを贈る、というやり方ではそう多くは支援できません。そこでリーグ戦やカップ戦など、国内の公式戦に出場するごとにワクチ

ン500人分を贈るというルールを作り、2008年から実行しています。できるだけ休まず試合に出場し続けることは、プロのサッカー選手として自分がこだわる大切な目標の一つ。そのため、シーズン中のハードな日程を乗り切ることのできる、けがに負けない体づくりに努めています。

幸いにも、ファンの方々の応援やチームのスタッフに支えられ、これまでチームの一員としてほとんど欠場せずプレーできています。過去2シーズンで贈ったワクチンの数は、3万7,500人分になりました。そしてその事実が、「子どもたちの命を救っている」という喜びと誇り、さらなるモチベーションへとつながっているのを感じます。

また07年より、国内の小学生向けのチャリティーイベント「今野泰幸CUP」を開催してきました。これは、サッカー好きの子どもたちに夢を与えよ

うと、テクニックを指導したり、ミニゲーム、サイン会などを行うというもの。実はこのイベントでは、ペットボトルのキャップを集め、当日持参するよう子どもたちに呼び掛けています。そうして集まったキャップは、換金してワクチン支援に充てています。サッカーを楽しむと同時に、世界の現状について知ってもらい、人のため、社会のために行動できる人間へと成長していく一つのきっかけになればと願っています。

国際協力といっても、自分のスタンスで無理なくできること、また日本にしながらにできることは、きっとたくさんあるはず。自分もプレーする限り、この活動は長く続けていきたい。そしていつの日か、ワクチンが贈られている国に足を運び、子どもたちに会ってどう喜ばれているかをこの目で確かめてみたい、そう考えています。